

# 育成

モノづくり人材

Vol. 70

## 長野県立岡谷工業高校

長野県立岡谷工業高校は、設立105年と長野県内の工業高校では最も古い歴史を持つ。同校が立地する長野県岡谷市は戦前から

製糸産業が大変な盛況をみせた地域で、

羽毛田哲朗校長が「最盛期は日本で生産される生糸の約4分の1を担ってきた」という

地元産業界の期待にように、工業が盛んだ



羽毛田校長

【DATA】▷校長＝羽毛田哲朗氏▷所在地＝長野県岡谷市▷学科構成＝環境化学科、機械科、電子機械科、電気科、情報技術科▷生徒数＝544人▷主要設備＝ガスクロマトグラフ、原子吸光分析装置、旋盤、マシンングセンター、3次元CAD、3Dプリンター、光造形機、UVプリンター、基板加工機、FA実習装置など▷主な進路＝マルヤス機械、セイコーエプソン、長野オリンパス、小松精機工作所、中部電力、平出精密、カゴメ、諏訪東京理科大学、神奈川工科大学など

## 実践力磨く技術系クラブ

ったルーツを持つ。戦後は、戦中に疎開でやってきた周辺エリアの企業などもあり、やがて時計や光学機器などの精密機械工業が発展。「製造業への従事者の比率が、全国平均と比べてもかなり高い」と

「ロボコン」信州に参加する岡谷工高のメンバー  
たヒシを堆肥として二次利用する研究などにも取り組む。  
岡谷市の工業課も同校を強力に支援する。「各種モノづくりイベントへの学生の参加の促進や必要な技術サポートには、地元企業を紹介してもらっている」と



「ロボコン」信州に参加する岡谷工高のメンバー  
たヒシを堆肥として二次利用する研究などにも取り組む。  
岡谷市の工業課も同校を強力に支援する。「各種モノづくりイベントへの学生の参加の促進や必要な技術サポートには、地元企業を紹介してもらっている」と

きめ細かくサポート。2年生時に全員が経験する3日間のインターンシップ(就業体験)も地元企業の協力によって支えられている。(諏訪支局長・岡部正広)

(金曜日に掲載)